



1980年のフリーハンデは別表のとおり決定した。四歳のトップはダービー馬オベックホースの62キロ。次いで皐月賞馬ハワイアンイメージ、菊花賞馬ノースガストの両クラシック馬に、無冠ながらモンテプリンスの三頭が、61キロで第二位にランクされた。牝馬ではハギノトッププレディが60キロを与えられたが、これは、75年テスコガビー、77年インターグロリアと同ハンデである。

古馬はホウヨウボーアイ、カネミノブ、ニチドウタロー三頭が61キロでトップに並んだ。トップハンデ61キロは過去十年間で最も低いが、主役馬不在の古馬戦線の姿を象徴的に表わしたものといえよう。秋の天皇賞を制したプリティイキャストがカツラノハイセイコと並んで60キロで二位。このハンデは72年のジョセツ、78年インターフロリアと同斤である。

三歳は関西のサニーシップラーが55キロで、東西を通じて単独トップに立った。関東はトップが54キロでテンモン、タケノダイヤ、ビッグディザイアード三頭が並んだ。東西とも全般的に力が接近しており、四歳になつてどの馬が活躍するか、熱戦を期待したい。



出席者

●栗東トレーニングセンター

各務富也  
岡林龍也  
甲佐勇也  
茂文裕也

●美浦トレーニングセンター

今原照之  
岩沢弘文  
柴田裕文  
岩片将士

●本部審判部

箕邦男  
司会／編集部

# 四歳馬……ハギノトッププレデイ60キロ

—— 昭和55年度は前年同様、ダービーがオペックホース、皐月賞がハワイアンイメージ、菊花賞ノースガストと、三冠を分けあつた。この三頭にモンテプリンスを加えた四頭が上位を形成するとと思うが、トップはどの馬か。

範 範 オペックホースはダービーを勝った後、活躍できなかつたのは残念だが、皐月賞2着の成績もあり四歳ナンバーワンと見たい。

岩沢 私も同意見だ。秋の成績は非常に残念だが、春の一連の活躍からトップでいい。

柴田 力は拮抗していると思うが、やはりダービー馬をトップに評価したい。

各務 結論的にはそうなるが、54

年のカツラノハイセイコ、53年のサクラショウウリから見ると、年々弱くなっているようで、寂しい限りだ。

岡部 オペックホースは秋の実績はない。この点、年間通して安定した成績を残したモンテプリンスと並べられないか。常識的にはダービー馬をトップにするのが普通だが。

柴田 それに春は天候が悪く良馬

場で競馬ができなかつたことで評価が非常に難しい。

小林 有馬記念に出走しなかつたのは残念だが、モンテプリンスはモンテプリンスで、ダービーにしろ菊花賞にしろ、理想に近い目いっぱいの競馬をしたと思う。その結果がともにクビという差になつた。やはりトップはオペックホースだ。

—— ではオペックホースがトップで何とか。

甲佐 歩いてきた道ということでは、54年のカツラノハイセイコよりも僅かだが下のよう感じじる。しかし、ダービーというレースの重さを考えると、歴代のダービー馬と同じでいい。

岩片 歴代馬と比べても遜色はないから、62キロに賛成だ。

岡部 私はトップは61キロと見てきた。

範 範 例年からすると、モンテプリンス、ノースガスト、ハワイアンイメージの三頭は、61キロの同斤とみたが。

今原 これらは馬より上位であり、ダービーの格からいっても62キロでいい。

各務 49年のコーネルランサー、52年のラッキールーラが62キロでいた。オペックホースも同じ62キロでい

—— オペックホース62キロ。これに続くのは1キロ差か2キロ差か。

柴田 2キロ差はない。次は61キロから始めたい。

各務 上位四頭では、潜在的能力ではモンテプリンスが一番と思うし、そう評価を落とす必要がない。

小林 ノースガストは秋からの台頭馬だが、神戸新聞杯も勝っている。当然61キロだ。

甲佐 52年のハードバージと比較しても61キロが妥当なところと思う。

—— ハワイアンイメージは秋以降、福島に遠征した初めてのクラシック馬だが、これの評価はどうか。

岩片 有馬記念に出走してきて7着に終わって、やや下かとも思えるが。

今原 皐月賞は不良だったが、直線オペックホースと競り合つて抜かせなかつた。これは評価したい。

岡部 私は60キロに評価する牡馬がいるなら、牡馬の方はどうか。

小林 牡馬ならハギノトッププレデイは60キロでどうか。桜花賞の短かいところと、エリザベス女王杯の二千四百に勝つた。

岩片 これらの馬は相当高く評価した。

各務 京都牡馬特別では古馬と対戦しているし、エリザベス女王杯の60キロは文句ない。

甲佐 春は一本調子の逃げ馬だったが、秋は自分で息を入れるようになつた。

各務 エリザベス女王杯は2着に3/4馬身差だが、いっぱいいっぱいの逃げ切りではなくて、見た目以上に圧勝と感じた。

ス、ノースガスト、ハワイアンイメージの三頭だが、次は何が来るか。

各務 関西ではタカノカチドキ、ノトダイバーが続くが、少し差はある。

岩片 関東ではサーゲンプリンス、サクラシンゲキだが、これも差はある。

柴田 いずれにしても、クラシック馬はいない。

—— 60キロに評価する牡馬がいるなら、牡馬の方はどうか。

小林 イハラハギノトッププレデイは60キロでどうか。桜花賞の短かいところと、エリザベス女王杯の二千四百に勝つた。

岡部 この馬は相当高く評価した。

各務 京都牡馬特別では古馬と対戦しているし、エリザベス女王杯の60キロは文句ない。

甲佐 春は一本調子の逃げ馬だったが、秋は自分で息を入れるようになつた。

各務 エリザベス女王杯は2着に3/4馬身差だが、いっぱいいっぱいの逃げ切りではなくて、見た目以上に圧勝と感じた。

範 範 歴代60キロに評価した馬では、

テスコガビーとインターグロリアがいるが、これらと比較してどうだろう。

柴田 インターグロリアの年は牝馬の三強といわれた、リニアクイーン、アイノクレスピンと強い牝馬が揃っていた。

甲佐 勝ったレースは桜花賞、エ

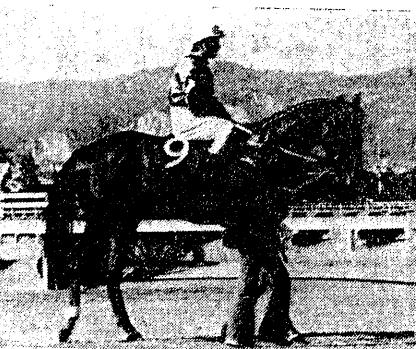
リザベス女王杯、阪神牝馬特別で、ハギノトップブレディに非常によく似ている。

岡部 51年のティタニヤが桜花賞、オーフスの二冠に勝って、59%の評価をした。

柴田 テスコガビーは秋出走できなかつたが、春にはカブランヤオーと戦い京成杯では微差の2着だった。今原 ハギノトップブレディは秋に

は一マイルのレコードを出していい。

小林 歴代の60%馬に少しも見劣りしない。



オペックホース

算 戰績も6戦4勝で文句の付けようもない。

各務 スピード、スタミナの二つを兼ねそなえた馬ということで、60%は賛成だ。

甲佐 久々に出た大型牝馬だ。60%以下にはできない。

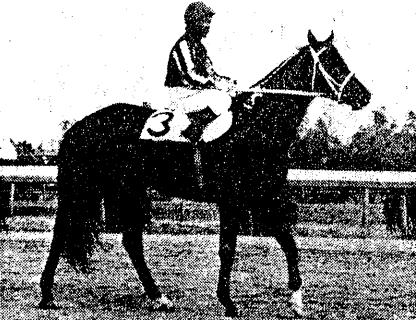
岩沢 牡馬の方だが59%でサーベンプリンスを置けないか。

柴田 4歳の夏の時期に、函館記念で古馬相手に勝った。春はスプリ

ングS優勝、皐月賞5着、ダービー6着。菊花賞4着というクラシック路線の安定した実績は評価したい。

小林 54年のリキアイオーが、オーフン—東京四歳S—弥生賞—ステークスと、重賞三つを含めて4連勝で58%だった。59%では高くはないか。

岡部 関西ではタカノカチドキを58%と見ていて。そうするとサーべンプリンスとは同等の58%の評価はできない。やはりサーベンプリンス



ハワイアンイメージ

算 タカノカチドキは春に京都四歳特別を勝つたが、牡馬の主力が関東へ行つた後だ。それに暮れの阪神大賞典もグレートタイタンの2着で勝てなかつた。1%の差はある。

今原 函館記念は55%のハンデだが、四歳馬のあの時期に古馬相手にこのハンデで勝つのは強い。59%に賛成だ。この1%下にタカノカチドキとサクラシンゲキだろう。

柴田 サクラシンゲキはサーベンプリンスと並べられないか。京王杯オータムHを勝ち、強烈な印象を残したニチドウアランとダービー卿CTで戦い、半馬身差の2着と好走した。

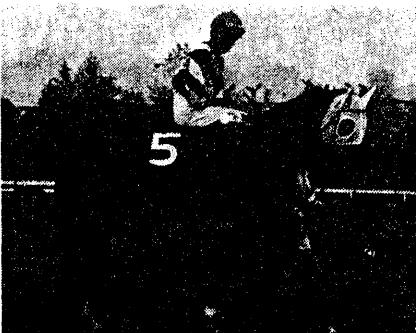
小林 ハワイアンイメージ、サクラ

トライト記念2着してから急上昇し、菊花賞5着、クモハタ記念1着のドロップボロードはタカノカチドキと同等の評価はできないか。

岡部 春の実績はないが秋にセン

シングキは距離的に不安があり、あえて菊花賞に行かずに他で力を付けながら、有馬記念に挑戦した。これ

は個々の馬の特性にあわせた使い方をしたのだろう。



ノースガスト

う従来のやり方を改めたという点でも注目したい。

岩沢 とにかくサクラシンゲキは2千までなら四歳の中では抜けた存在だ。

算 しかし、サクラシンゲキは59%までは評価できない。タカノカチドキと同じいい。

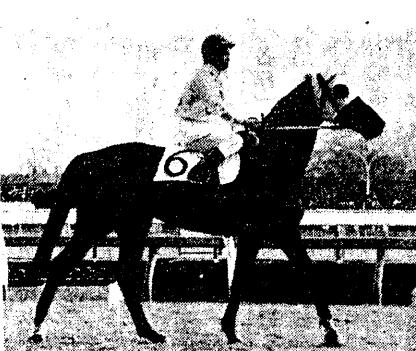
ドキとサクラシンゲキ、タカノカチドキ。

小林 では59%にサーベンプリンス、58%にサクラシンゲキ、タカノ

カチドキ。

柴田 春の実績はないが秋にセン

トライト記念2着してから急上昇し、菊花賞5着、クモハタ記念1着のドロップボロードはタカノカチドキと同等の評価はできないか。



モンテプリンス

るだ。

今原 54年の三歳チャンピオン、  
リンドタイヨーも、この辺にランク  
したらどうか。

岩片 東京四歳Sの勝ち方は、ク  
ラシックはこの馬で仕方ないとと思わ  
せた。その後脚部不安から秋に復帰  
するわけだが、最後の有馬記念で5  
着に入った。これは評価したい。

岩沢 四歳馬では最先着だ。  
なら異存はない。

岡部 リンドタイヨー57%なら、

京都新聞杯1着、NHK杯5着のオ

一バーレインボーは並ばないか。

各務 やはり1%下だらう。リン

ドタイヨーはともかく、ノトダイバ

ーとは並べられないのではないか。

寛 57%にもう一頭トウショウゴ

ッドは並ばないか。皐月賞で競走中

止してその後走ってないので、評価

の難しい馬だが、オーバーレインボ

ーよりは上に見たい。

柴田 京成杯、東京四歳Sと2着

して、弥生賞に勝った実績は評価し

たい。

岩片 秋の成績がないのが気にな

るところだが、その点はどうか。

## 五歳以上……トップは61キロで二頭

——古馬は春の天皇賞がニチド  
ウタロー、秋が牝馬のプリティキヤ

スト、有馬記念はホウヨウボーキ  
と、四歳同様勝馬が目まぐるしく入  
れ替っている。全体的に見た場合ど  
う評価するか。

寛 古馬は四歳陣以上に重賞を連

覇できる馬がなく、さらに人気に応  
えて勝つ馬は少なかつた。例年と比  
較した場合、そう高い評価は与えら  
れない。

各務 ここ2年のトップを見てみ  
ると、53年はエリモジョージ、カネ  
ミノブ、グリーングラス、54年はグ  
リーングラス、サクラショウユリとい

ずれも62%だった。

今原 それから比較しても、62%  
まで格付けできる馬はない。トツ

プロは61%からどうか。

岩沢 歴代天皇賞馬を見ても、53

年テンメイ61%、54年のカシュウチ  
カラ、スリージャイアンツとも61%  
だった。

岡部 いずれにしても62%までラ

ンクできる馬はないのだから、ト

ップは61%から始めよう。

柴田 まずホウヨウボーキだが、

秋の天皇賞は初めての一線級が相手

で7着と敗れているが、有馬記念の

他に春に格の高い日経賞を勝ってい

る。61%でトップは問題ない。

岩片 それと同時にカネミノブだ

きで勝ち、秋は61・5%で4着と健

闘した。ホウヨウボーキと同じくカ

ネミノブも高く評価したい。

るところだが、その点はどうか。

今原 弥生賞の1勝だけだが、オーフィス  
で破ったメンバーが、ハワイアン

イメージ、モンテプリンス、サーペ  
ンプリンス、サクラシングギーと、こ

のフリーハンデで上位馬ばかり。

57%くらいの評価はしたい。

トダイバー、リンドタイヨー、トウ  
ショウゴッド、56%がオーバーレイ  
ンボー。他に56%はいらないか。

甲佐 牡馬はいないが牝馬のケイ  
キロクはどうか。

——57%はドロップボロード、ノ

トダイバー、リンドタイヨー、トウ  
ショウゴッド、56%がオーバーレイ  
ンボー。他に56%はいらないか。

甲佐 牡馬はいないが牝馬のケイ  
キロクはどうか。

秋の天皇賞に勝つて61%だった。

各務 その点からカネミノブ、ホ

ウヨウボーキの二頭は61%で並べた

やどうか。

岩沢 それなら何も異存はない。

秋の天皇賞馬ニチドウタロー

ーはどう評価するのか。今の二頭と

並べるか、1%下にするか。

小林 ニチドウタローは、プリテ

イキヤストに何%与えるかで決まる

と思うが。

寛 天皇賞に勝ったが、牡馬と牝

馬は実際に2%差がある。これをど

うとらえるかだ。

岩片 プリティキヤストはスリー

ジャイアンツ同様、春のダイヤモ

D Sにも勝っているが、スリージャ

イアンツは、ダイヤモンドS、

が一番だが、ホウヨウボーキは日経

賞、そして有馬記念で一度カネミノ

ブに勝っている。また54年のスリー

ジャイアンツは、ダイヤモンドS、

各務 54年のアグネスレディーは  
オーフィス1勝だったが、オーフィスト  
ライアル、エリザベス女王杯2着の  
実績で57%の評価だった。

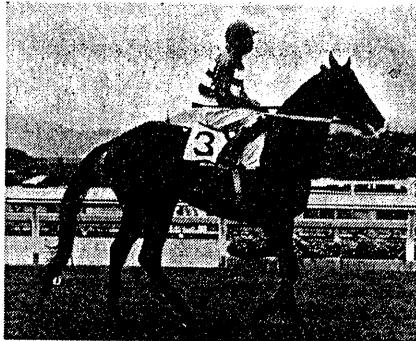
小林 53年のオーフィス馬ファイブ  
ホールプが55%だったが、これよりは  
やや上に見たい。

今原 メンバーは落ちたが、京都

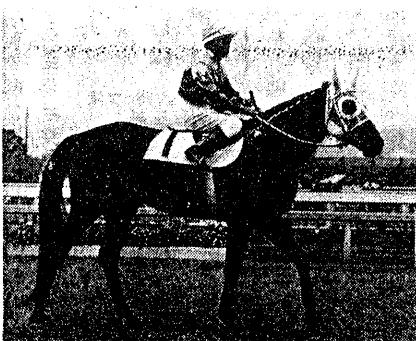
四歳特別で牡馬に混つて3着した点  
を加味して56%でどうか。

甲佐 妥当なところだ。

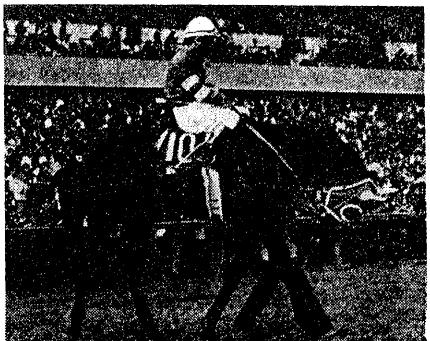
(以下略)



ホウヨウボーイ



カネミノブ



ニチドウタロー

もいい。

**岩沢** 最近、牝馬で天皇賞に勝つたのは46年のトウメイがいるが、これは有馬記念も続けて勝つて64%だった。

**岡部** トウメイは別格だ。秋だけ強かったんじゃなくて春から走つていった。

**今原** ニチドウタローはオーブン天皇賞と続けて日本レコード勝ちした。しかし、天皇賞は京都と阪神との馬場差を考えると61%までは行けないのでないか。

**甲佐** 坂のある京都と平坦な阪神ではスタミナの点も全然違う。やっぱり1%下の60%でもいいのかかもしれない。しかし、強さということが見れば、61%でも少しも変ではない。

**柴田** 型にはまったくのプリティキャストの強さは素晴らしい。60%は評価している。

**各務** 春の天皇賞のメンバーもいのが揃っていたので、ニチドウタローは61%で並べ、プリティキャスト60%でどうだろう。

**岡部** 上位四頭は決まったが、これに続く馬は何か。

**岩片** 54年にメジロファントムが天皇賞、有馬記念に連続してハナ差2着で60%だった。カツラノハイセイコも60%でいいのではないか。

**岩片** カツラノハイセイコは9月に再起し、サファイヤS 2着—京都大賞典3着—目黒記念1着。天皇賞こそ6着に敗れているが、有馬記念

ではハナ差の2着した。そう低くは評価できない。

**今原** この馬はやはり60%の大台の力は認められる。プリティキャストと並んで60%がふさわしい。

—— 次の59%の馬はいるか。

**算** まず問題になるのは、正月の金杯、京都記念、阪神大賞典と三つの重賞勝ちのグレートタイタンだが、59%でどうか。

**各務** それにニチドウアラシも59%に見たが。

**今原** グレートタイタンの59%は重賞といつても、対戦相手から58%が適当だ。

**小林** 京都大賞典で殿り負けと大敗を契している。

**甲佐** 二頭の比較をすれば、ニチドウアラシの方が上と見る。

**岩片** グレートタイタンは関東馬と天皇賞で闘い、春は14着、秋5着だった。

**各務** 春の天皇賞のメンバーもいのが揃っていたので、ニチドウタローは61%で並べ、プリティキャスト60%でどうだろう。

**岡部** 上位四頭は決まったが、これに続く馬は何か。

**岩片** 54年にメジロファントムが天皇賞、有馬記念に連続してハナ差2着で60%だった。カツラノハイセイコも60%でいいのではないか。

**岩片** カツラノハイセイコは9月に再起し、サファイヤS 2着—京都大賞典3着—目黒記念1着。天皇賞こそ6着に敗れているが、有馬記念

関東にはカネミカサがいる。これはアメリカJCCを勝ち、中山記念の3連勝こそならなかつたが、ニチドウアラシに匹敵する。

**柴田** カネミカサとニチドウアラシは同じ59%でいい。

**算** あと59%には今年は勝鞍はないが、アメリカJCCを60%で好走した、サクラシヨウリを置いておきたいがどうか。

**甲佐** 2戦しかしていないので、ここで取り上げていいかが問題になるが、現実に60%での好走を評価して良いと思う。

**各務** 宝塚記念のテルテンリュウ、鳴尾記念、高松宮杯勝ちのリン

ドブルバンをどう見るか。59%でもいいという気がするが。

**甲佐** この二頭とも59%は重くないか。カネミカサ、ニチドウアラシとは並べられない。

**岡部** 1%下の58%だ。ここには他にシルクスキューはどうだろう。京都大賞典でニチドウアラシを破り、目黒記念はカツラノハイセイコのハナ差2着だ。

**岩片** 今年は評価の難しい馬が多い。シービークロスもその一頭だ。

**各務** この馬は58%の評価をした。

**甲佐** 関西のバンブトンコートも評価している。マイラーズC、ニュージ

ーランドトロフィー、サファイヤS、ダービー卿CTと、いずれも二千ま

での競馬の強さはナンバーワンだ。

**岩片** マイラーということなら、

—— 岩片

岩片 マイラーということなら、

—— 小林

小林 もう一頭4戦0勝のメジロ

ファンタムはどうするか。58%でどうか。

観 天皇賞2着は高く評価したい。

59%でもいいと思ってるくらいだ。

柴田 今年は勝鞍はないが、サク

ラショウウリを59%の評価をするな

ら、メジロファンタムは58%で格付したい。

では59%がカネミカサ、ニチ

ドウアラシ、サクラシヨウウリの三頭

58%はグレートタイタン、シルクス

キー、テルテンリュウ、サービーコ

ス、リングブルバーン、メジロファンタム、バンブトンコートの七頭になる。

今原 57%に京王杯スプリングH

と関屋記念を勝ち、牝馬東タイ杯で

59%を背負ったシーバードパーク。

各務 関西では春の京都記念と秋

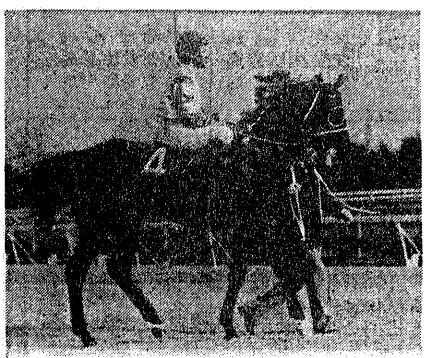
の朝日チャレンジCのアグネスレディーを評価したい。

柴田 牡馬ではブルーマックス、ヨシノスキーの二頭。

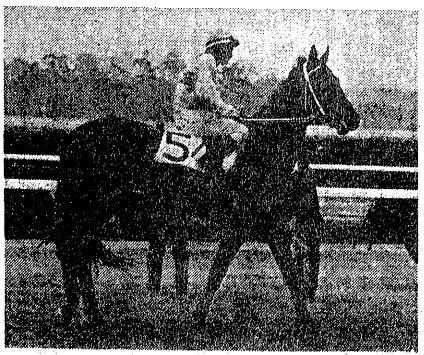
岡部 キャプテンナムラもいい。

(以下略)

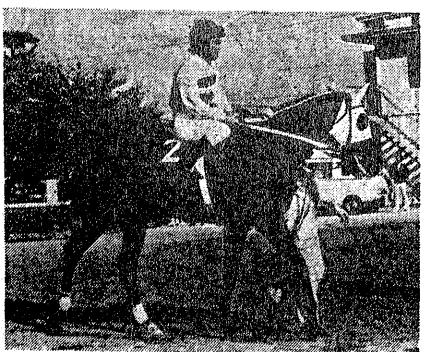
## 二歳馬・サニーシープレー東西単独トップに



サンーシープレー



テンモン



タケノダイヤ



ビッグディザイナー

— 最後に三歳馬だが、東は牝馬テンモン、西はサンーシープレーがチャンピオンになったが、最近の全休的傾向をどう見るか。

各務 特別競走でも勝馬はコロコロ変わるし、これだという馬はないなかったと思う。

観 毎年そうなんだろうが、故障馬が目立つたようだ。

今原 三歳のデビューが遅くなつたのか、有力馬が出揃うのが、少し遅くなつてきてているみたいだ。

柴田 時計的には確かに速くなつ

てきているが、年々馬自体が脆弱になつてきているような印象を受けれる。走る走らないは別にして、馬体を見ただけで素晴らしいと思う馬は、少なくなっている。

— では関西馬から。

各務 サニーシープレーは55%の評価をしたい。二番手以下はサンーシープレーから、2%の力量差があるだろ。

甲佐 関西のトップは3戦3勝のサンーシープレーだが、歴代の56%馬、キタノカチドキ、テンポ印ト、パンプトンコートなどと比較して、55%と見たい。

岡部 55年の三歳馬の水準を例年と比較しても、そう高い評価は与え

見て岩片 朝日杯三歳Sのテンモン、京成杯三歳Sのタケノダイヤ、北海道三歳Sのビッグディザイナー、この三頭の重賞勝馬を54%で並べたいと思う。

小林 53%には函館三歳Sのシンピロー、阪神三歳S2着のジョークラトリオ、その他にグリーンアトム、スズカロードと入る。

— 関東のトップはどの馬で何の岩沢 関東には55%にランクできる馬はない。トップは54%からと

柴田 牡馬には四歳になつてから

の奮起を大いに期待したい。

(以下略)

# '80年のフリーハンデ

※牝 馬 抽せん馬  
 ②父内国産馬 地公営出身馬  
 ④外国産馬 ⑤市場取引馬

四歳馬		五歳以上		三歳馬(東)		三歳馬(西)	
62	オベックホース	61	カネミノブ	54	※タケノダイヤ (テスコボーニマギージブス)	55	サニーシブレー (アリモシブレーニマクチナ)
61	ノースガスト		ニチドウタロー	53	※テキンモント (リマンド=レデースポート)	53	※グリーンモント (ダイトム=キムスクイン)
	ハワイアンイメージ		ホウヨウボーアイ	52	ビッグディザイアード (トライバル=フリーフラヤイ)	52	シーランドトロッピング (シーランドエーブル=シャングラオ)
60	モンテプリンス	60	⑥カツラノハイセイコ	53	※キーンセイパワード (アローエクスピード=クロワット)	53	シーランドトロッピング (シーランドエーブル=シャングラオ)
59	※ハギノトップレディ		※ブリティキャスト	52	※ヘーゼルロンド (サンショーマイルチスビード)	52	スズカロード (ステューベンダス=ゲネバード)
58	サーベンプリンス	59	カネミカサ	52	アカネハチマン (ホーント=シャレード)	52	⑥アメリアカンウェン (アシッド=ミノカオ)
	サクラシングキ		サクラショウシリ	52	⑥アローネーム (アローエクスプレス=アップルハート)	52	⑥イワキターンサー (ナイキ=サンミシェル)
57	⑥タカノカチドキ		ニチドウアラシ	52	カツトップエース (イエローゴードン=アコニット)	52	キタノコマヨシ (カバージュウ・ハ・ビ)
	トウショウゴッド	58	⑥グレートタイタン	52	※クリアートショウウ (カビト=ミクロワ)	52	シンリベア (アブチュース=シリガーヴィン)
56	⑥ドロップボロード		※シルクスキード	52	サガミハヤテ (キブチュース=フライグエース)	52	⑥タインセイハイテ (ティハイジギフト=ツツイムス)
	ノトダイバー		シービークロス	52	サクラスマイル (サンショーマイルチスビード)	52	ニホンビロハイデン (トライルシーフ=ホンビロエバート)
55	リンドダイバー		⑥テルテンリュウ	52	※サンエイソロン (バーソロニン=ヤマシタルダン)	52	※ネーハイフルティ (フォルティニア=アクルアル)
	オーバーレインボー		バンブトンコート	52	※シタダイコスマス (シタダイ=シタダイブリマ)	52	ハツビープログレス (フリーウィング=シンブルン)
55	※ケイキロク		メジロファンタム	52	スズフラバ (スティンテイノ=ヒダカラバ)	52	バンブトンハーレー <sup>1</sup> (エタン=プロバンス)
	⑥ジユウジアロー	57	⑥リンドブルバン	52	スリーパーバン (スリーパーバンナ)	52	ヒロノワカコマ (エタン=ヒデカワ)
	※タケノハッピー		※アグネスレディー	52	タカギショウリ (シリコーン=チサキミドリ)	52	⑥フジヤマテスロ (テスコボーニ=ウルワツアイ)
	※タマモコトブキ		⑥キャブテンナムラ	52	デンコウギング (タレイラン=コウギング)	52	フセノコマンド (カバージ=トリノ)
	ハーバーシャレード		※シバードパーク	52	ペールエア (シルバージャーク=マーチングマテダ)	52	※マークトルトショウウ (ダンディル=チャイナトウショウ)
	レッドジャガー		ブルーマックス	52	イグエヒカル (スティンティノ=ヒグダミス)	52	ミヤジヒロニ (ホールドコンパン=ヒロダイコ)
54	※シャダイダンサー		ヨシノスキー	52	オングードギング (オングード=ドギング)	52	⑥リュウゴノヘ (リュウガーロス=タカハイブイン)
53	⑥キタノリキオー	56	ハシクランツ	52	オングードギング (オングード=ドギング)	52	⑥リードワンダー <sup>1</sup> (アローエクスピード=キクホウラン)
	※コマサツキ		⑥メジロトランザム	52	キクショウワ (カウアキ=スイートスピッズ)	52	アストロコマンダー <sup>1</sup> (アストロコマンダーニ=フリゾデ)
	⑥タツミプリンス	55	⑥サクラエイリュウ	52	※サクラゴッド (ボルドードエイブリーラース=フリック)	52	⑥オサイチブレス (アローエクスピード=タカイチカラ)
	※ボリートウショウウ	54	※サクラゴッド	52	コダマエデン (キブチュース=コダマオイカシ)	52	コウエイビツグ (ハードソーピートニラブニア)
52	※ラフオンテース		サンライダー	52	コーン一ト (デュエル=イチモリホーリ)	52	⑥シルクリキオーネ (ダイコーター=ヒガシマニー)
	⑥アロージョイフル		テルノエイト	52	ダービーアイサム (オシリーフィアライフ=アブダミス)	52	※シングミスチーフ (トライバル=チーフ=ケンキョウ)
	インターブランブリ		ハーディプリンス	52	※トクノエイティー (トクノエイティー=ハインブルビー)	52	スペインヒビメ (フィリップアブスベイン=カレンブレイク)
	⑥インタースマッシュ		ファインドラゴン	52	ビーシートラス (ビーシートラス=ローズワイヤー)	52	トウカイマイチ (カバージ=トカイマイチ)
	キヨカツオー		ブルーアレツ	52	ホクトオウショウウ (テスコボーニ=スハイ)	52	トラックセイハ (カウントラック=ダイタイ)
	⑥グリーンチドリ		※マリージョーイ	52	ホルセキト (トライラン=ワドレーミ)	52	バンブージヨツキー <sup>1</sup> (モハリッズ=セビアバンブー)
	⑥コンバニオン		ユキフクオ一	52	ユウウモウ (ユウシオ=ミスコウモウ)	52	ヒメメタカ力 (キタノカチドキ=ギンザヒ)
	スイートネイティブ	53	⑥アグネスプレス	52	※エブソムガール (アローエクスピード=ゲン)	52	ヤシシマズビード (エローゴッド=エリュウシング)
	ダイニテンリオーティオージャ		アスコットロイヤル	52	キリガーデン (カバージ=カケアベジ)	52	オオシマズズラン (カワイキシグ=ネバーワンオーナー)
	ニットウフレッシュ		アラナスゼット	52	クインブレハツト (カブロ=カブロブレハツト)	52	⑥オーコンターティエ (オーティークインビーチ)
	ハワイアンジュエル		⑥ウエスタンジョージ	52	⑥コロスサファイア (カブロ=コロスサファイア)	52	オーナーキンシエム (オーナーキンシエム=オージージム)
	バンブトンビオラ		⑥グリーンダッシュ	52	コーリーベイ (ダイトム=ワットボーネー)	52	キクノエミー <sup>1</sup> (インテル=ミスパンジー)
	ビゼンセイリュウ		⑥サルノヒーロ	52	サクランボ (バーソロニン=スリーブラック)	52	⑥オーナーイントム (リデントリニ=ヤマノオーナー)
	プロスペラスバナー		スズカシンブウ	52	サクラオーディ (バーソロニン=スリーブラック)	52	ダーリンシチー <sup>1</sup> (ダイコーター=ブレーブシリー)
	リックサンブル		タケノテンジン	52	※シャツツブイー <sup>1</sup> (チューデナム=ファストバード)	52	タマモハイデン (オーバン=イーブラン)
			タニノテスコ	52	サクラベニケイ (バーソロニン=スリーブラック)	52	テルタグシケン (ソブリン=グリーム=バラシ)
			ナカミサファイヤ	52	※シヤツツブイー <sup>1</sup> (チューデナム=ファストバード)	52	※ドンテスコシチー <sup>1</sup> (テスコボーニ=ボニーハワイアン)
			ファーストアモン	52	サクラオーディ (バーソロニン=スリーブラック)	52	ナンシンチエリ <sup>1</sup> (シューティングチャント=ホウスカイグロ)
			フシアドミラブル	52	※コーリーベイ (ダイトム=ワットボーネー)	52	ブルーデリリウム <sup>1</sup> (ダストコマンダー=ブルーギフト)
			⑥フジノハイハット	52	サクランボ (ボルドードエイブル=ナスノミツル)	52	ブルーパッケン (リマンド=真金)
			⑥フジマドンナ	52	⑥アリストダンサー <sup>1</sup> (ロイヤルドリマード=エミー・オーナー)	52	ホイスリングホマレ <sup>1</sup> (ホイスリングワンドII=スズカマダ)
			マイエルフ	52	ブローケード (イエローゴッド=マリンエクスピレス)	52	マヤエンジエル <sup>1</sup> (ダイハード=サンエイトラック)
			マークリシルバー	52	ブローケード (イエローゴッド=マリンエクスピレス)	52	⑥マンジュデンサクラ <sup>1</sup> (エタン=ルウネラバンブー)
			ジンクエイト	52	マルゼンロスカ (リッヂボーライシル)	52	ミスナオコ <sup>1</sup> (オースタンフリート=フォージェリ)
			ツキマサル	52	ミユキカマダ (ダイトム=ヤヨイカマダ)	52	リマンドキンング <sup>1</sup> (リマンド=リュウフォーラ)
			ホクトダンディ	52			ロングビーター <sup>1</sup> (アステック=ヒカリクラウン)
			マルブツウイナー				
			モンテリボー				

(計40頭)

(計52頭)

(計50頭)

(計50頭)